

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	摂南大学枚方学舎7号館	階数	地上3F
建設地	京都府八幡市八幡備前29番1	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	500 人
気候区分		年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年2月 予定	評価の実施日	2011年3月1日
敷地面積	32,942 m <sup>2</sup>	作成者	小林 務
建築面積	3,074 m <sup>2</sup>	確認日	2011年3月2日
延床面積	7,193 m <sup>2</sup>	確認者	小林 務



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 83%

③上記+②以外のオンサイト手法: 83%

④上記+オフサイト手法: 83%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.2

**LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	敷地周辺、部屋ごとの用途の関係性に配慮しながら、それぞれの部屋の配置を各階ごとに行う。結果的に生まれる、各階間のスレが、魅力的な連続する半外部空間となるように計画としている。	<b>その他</b> キャンパス全体での見え方から(白を基調色とする。ポリュームとしての大きさを既存キャンパスと十分に調和するように配慮する。開口部のプロポーション等が既存棟と調和するよう配慮する。)、建築群としてのアイデ
<b>Q1 室内環境</b>	400㎡以上の比較的大きな部屋が多い為、それらの部屋においても十分に採光・通風が得られるような部屋同士の構成の仕方を計画としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 各階の見通しが良く、目的とする部屋へ誰もが行きやすい計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b>	全熱交換器による熱負荷抑制や高効率タイプの空冷ヒートポンプ方式の採用により、省エネルギー化を図る。地中熱利用パッケージを採用し自然エネルギーの利用を図る。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 隣接する、既存の1号館の環境、及び1号館との間の広場の環境に配慮し、低層(3階)の計画とすると共に、広場に向けて積極的にピロティ・テラス等を設ける計画としている。
	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 雨水利用システムを採用し植栽散水への利用や節水型器具の採用による節水を図る。	<b>LR3 敷地外環境</b> 低層化により、敷地外への圧迫感を低減する計画としている。また、敷地周辺には緑地を設け、周辺への潤いを提供する計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい